

審議会等の会議の記録

会議の名称	第1回伊勢崎市水道事業経営戦略等検討委員会
開催日時	令和4年5月13日(金) 13時30分～14時30分
開催場所	伊勢崎市役所 東館3階 災害対策室
出席者氏名	〔委員〕 熊倉委員長、前田副委員長、宮田委員、加藤委員、中西委員、 相川委員、荻野委員、都丸委員、細野委員 〔事務局〕 尾島上下水道局長、井野副局長兼総務課長、 柳澤上水道整備課長、中山浄水課長、 大島上水道計画係長、土屋総務係長、関野経理係長、 三上経理係長、菊池料金係長、堂前主査、根岸主査
傍聴人数	0名
会議の議題	・現行の伊勢崎市水道事業経営戦略（伊勢崎市水道ビジョン）について
会議資料の内容	・次第 ・伊勢崎市水道事業経営戦略等検討委員会 委員名簿 ・席次表 ・資料1「伊勢崎市水道事業経営戦略等検討委員会設置要綱」 ・資料2「伊勢崎市水道事業経営戦略（伊勢崎市水道ビジョン） 【概要版】」

<p>会議における 議事の経過 及び発言の要旨</p>	<p>【委嘱状交付式】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 挨拶 4 閉会 <p>【第1回検討委員会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員・事務局自己紹介 3 委員長及び副委員長の選任 委員長に熊倉委員、副委員長に前田委員が選任された。 4 議 題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の伊勢崎市水道事業経営戦略（水道ビジョン）について事務局から「伊勢崎市水道事業経営戦略（水道ビジョン）【概要版】」に基づき説明があった。 <p>【質問・意見】</p> <p>委員長：次の3点について確認をお願いしたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 給水人口、使用水量は計画値通りの推移となっているか 2. 水道管路の耐震化率は計画通り進んでいるか 3. 料金改定したことにより、経営は安定しているか <p>事務局：まず1については、給水人口、使用水量ともに、計画よりは緩やかではあるが減少をしている。 次に2については、水道管路の耐震化率は、計画値よりも少し下回っているが、毎年上昇している。 次に3については、料金改定により給水収益については安定をしている。</p> <p>委員長：各委員から意見はあるか。</p> <p>委員：委嘱状交付式にて市長より市民アンケートで水道が一番評判が良いと話題があったが、2番、3番はなにか。</p> <p>事務局：確認後、回答する</p> <p>委員：全国的な傾向として人口、給水収益ともに減少して</p>
-------------------------------------	---

いる。全国的に見て料金改定は3年から5年周期で見直しを行っている。伊勢崎市においても令和2年に料金改定を行い、経営基盤の強化が図られていると感じた。

伊勢崎市の経営戦略にある耐震化率と厚生労働省が示す基幹管路の耐震適合率との違いは何か。

事務局：伊勢崎市の耐震化率については基幹管路のみではなく、全ての水道管路のうち耐震管となっている管路の割合となっている。令和2年度末で10.25%となっている。

委員長：管路の耐震管率が10%を超えたということだが、残りの約90%については危険性があるということか。

事務局：残りの90%については法定耐用年数を超えていない管路も存在しており、全ての管路に危険性があるということではない。

委員長：平成28年度の全国平均に近い管路の耐震管率となったということで、これからは全国の他の地域と同様の整備を進めていけば市民に安定した水を供給できるということか。

事務局：そのとおり

副委員長：今回の提示資料では前回の経営戦略の説明のみであり、経営戦略を策定してからの決算値や人口等の現状がわからなければ議論しようもない。次回までよいので現状とこれからどのような見込みを立てているかの数値がほしい。

委員長：副委員長の言うとおり、今後のいろんな議論を効率的に進めたり意見を出すためには、経営戦略策定時の考え方、策定後の決算数値、そして料金改定後の収益の見通しを出した上で、問題点や議論となる点を示してもらいたい。

また、資料等に出てくる用語についても専門家以外が理解できるように作成をお願いしたい。

事務局：先ほど中西委員から質問があった市民アンケートにおける満足度2番と3番について回答したい。

2番は水と緑の空間の形成で、3番は消防救急体制の充実となっている。

委員長：市長からは重要度、満足度ともにトップであったという話だったと思う。満足度はわかったが、重要度についてはどうか。

	<p>事務局：1番目が災害に強いまち作り、2番目が地域医療体制の充実、3番目が安定した水道水の供給となっている。</p> <p>委員長：災害対策や水についての関心の高さがわかり、この検討委員会の重要性も理解できた。先ほどお願いした資料を作成し、第2回の検討委員会を迎えることとする。</p>
--	---